

ユニバーサル就労を目指して... 自立、共生、そして持続可能性 —hikari no cafe 蜂巢小珈琲店の挑戦—

栃木県北部の水田地帯に、ひっそりと、今話題沸騰の珈琲店があります。廃校となった小学校をリノベーションした、ため息がでるほど素敵な珈琲店。この珈琲店のミッションは、障がいのある方々の仕事づくりを起点に、地域社会における共生、持続可能性を高めること、そして... (続きは会場にて)

【語り手】

川上聖子 (かわかみ しょうこ) さん

社会福祉法人エルム福祉会

hikari no cafe 蜂巢小珈琲店 (指定障がい福祉サービス事業所) 施設長・エルム福祉会理事・大田原市教育委員・大田原ありがとうの会会長

栃木県大田原市出身。学習塾経営の後、2000年エルム福祉会の知的障がい者グループホームの世話人・マネージャーとして勤務。2012年同法人高齢者事業所「たじまの杜」(認知症対応型グループホーム・小規模多機能型居宅介護)を立ち上げ、施設長となる。現在は2016年4月にオープンした「hikari no cafe 蜂巢小珈琲店」の施設長。エルム福祉会の“地域で生きる”“働く施設”という方針のもと、主に知的障がい・精神障がいのあるスタッフ(利用者)と一緒に働く喜びを共有しながら地域に愛されるお店を目指している。

【hikari no cafe 蜂巢小珈琲店の URL】

www.hikarinocafe.com

■日時 2017年11月11日(土)

午後2時～4時頃

■会場 宇都宮大学UUプラザ 2階

「コミュニティフロア」

■定員 50名

■主催 宇都宮大学教育学部陣内研究室

■協力 宮あるき探偵団

■申し込み及び問い合わせ先

宇都宮大学教育学部陣内研究室

Tel/Fax 028-649-5366

mail jinnouhi@cc.utsunomiya-u.ac.jp

<入 場 無 料>